



< ~1965(S40) 卒業 >



< 1966 ~ 1979(S41 ~ S54) 卒業 >

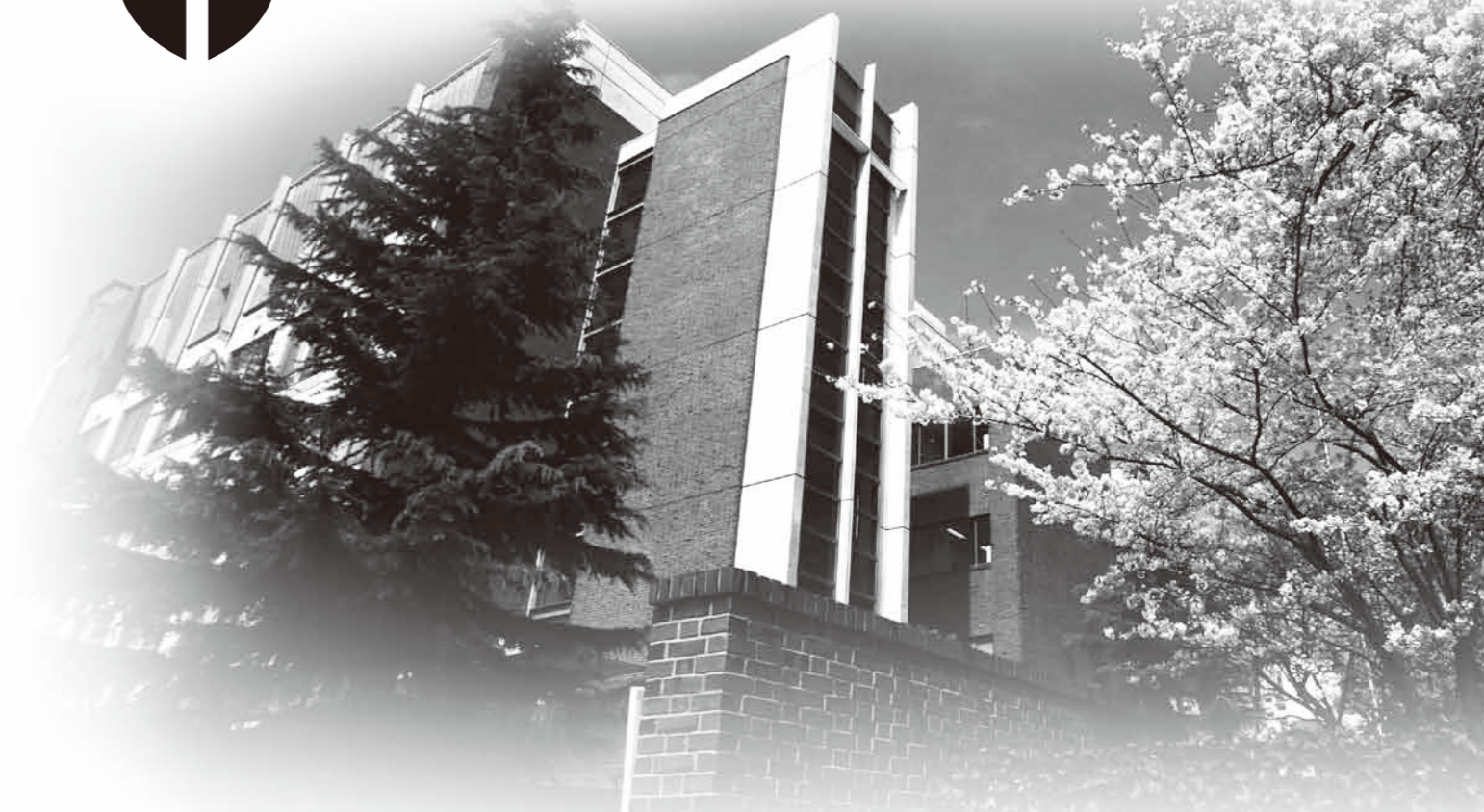


< 1980(S55) ~ 卒業 >



立教中高同窓会

会報 [No.3]
2009年5月発行



2009年立教中学校・高等学校同窓会定期総会、懇親会のご案内

| | | | | | |
|------|-----|----------------------------------|-----|-----|---------------------------------------|
| 定期総会 | 日 時 | 2009年6月20日(土) 午後4時30分開会 | 懇親会 | 日 時 | 2009年6月20日(土) 午後5時30分開会 |
| | 場 所 | 立教学院諸聖徒礼拝堂 (立教学院池袋キャンパス内チャペル) | | 場 所 | 立教大学池袋キャンパス内第一食堂 |
| | | | | 会 費 | 一般会員 5,000円 学生会員 2,000円 同窓会新入会員 無料 |

同窓会会員の皆様におかれましては、卒業以来、未曾有の世界的経済危機の中にあつて、各方面、各分野でご活躍のことと存じます。

今年の定期総会は、立教池袋キャンパス、我等母校の学院チャペル・立教学院諸聖徒礼拝堂にて執り行います。

日頃の多忙な生活の中、若き日の思い出のチャペルにおいて、日々の活躍に真心を持って感謝し、賛美を捧げる同窓生の為の祝福礼拝を企画いたしました。

また本年度は、懇親会においては第一学食を貸切りにして、同窓会の新入会員の皆様を無料にて招待いたします。同窓会一同を挙げて、入会の歓迎を執り行います。同窓生と先生が相集い、同窓生の新しい門出を祝い、皆様の近況を聞き、旧交を温め合うのも大いに意義のあることと思います。

同窓会ロゴマークを背景に、懐かしい恩師との撮影会、立教大学体育会応援団及びOB団長、チアリーダーによる演舞など、楽しめる企画を用意しています。

青春を謳歌した頃の思い出を語り合い、励まし合えます事を楽しみにしています。

※尚、会場の準備がございまして、ご出席のお申し込みは同封の払込取扱票に 懇親会費・維持会費の金額等 必要事項をご記入のうえ、6月5日までにお願い致します。卒業年は、封筒の宛名シールをご参照下さい。

※同窓会新入会員の方の会費は無料です。出欠の返事は同封の返信はがきにてお願い致します。

立教中高同窓会に寄せて



立教池袋中学校・高等学校
校長 鈴木 弘

本年度、立教池袋中学校・高等学校の校長に就任しました鈴木 弘です。宜しくお願ひ致します。私が立教に着任したのは、昭和50年(1975年)の11月でした。故広瀬 喬先生(数学科)が、帰宅途中に足を骨折されたのがきっかけでした。

そのピンチヒッターとして、大学4年の後半から、まだ教員免許も取得見込みの段階にもかかわらず、「立教中学校」の臨時講師として働かせて頂き、今日に至っております。

現在の池袋中高の小澤哲也(英語)・初瀬川正志(英語)・原 真也(社会)そして立教小学校の西村正和という各先生方が、当時ちょうど中学1年生でした。その翌年4月、現在の押田修実事務長と一緒に就職しました。34年前のことです。

さて、本年度はウィリアムズ主教宣教150周年、立教学院創立135周年、そして立教池袋中学校・高等学校設立10年と、記念すべき節目が3つ重なる年です。

ウィリアムズ主教が建てたこの学校の初心を忘れないこと、これこそが私たちの使命であり、次の未来へ歩を進める大切な基本となります。本校をここまで献身的に育て上げてこられた学校関係者、教職員、そしてOB諸氏のご尽力に感謝すると共に、立教の良き伝統を守り、そして新たな挑戦を恐れず、本校の使命をさらに実践していきたいと思ひます。

最後に、最近の池袋中高のご報告です。『立教中学校』時代のころから比べると大きく変化しています。立教大学からの非常勤講師の先生も多くなりました。教職員は総勢86名、専任教職員は49名で内女性は7名が勤務しています。専任教職員49名のうち、クリスチャンは27名、立教学院各校のどこかを卒業されている先生、いわゆる立教卒の先生は23名です。施設面では、老朽化の進んだ体育館を中心とする体育施設の建設計画を、学院とともに、2012年あたりを目標に推し進めています。

本校は、新座校と比べれば規模も小さくスリムな学校です。しかし、その分生徒と親密な関係を作り、教職員が一つにまとまり力を合わせて「立教の教育」をさらに高め具現する努力をしています。今後も立教池袋中学校・高等学校を見守ってください。

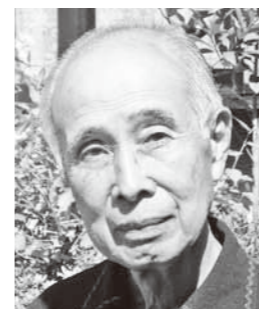
同窓生を訪ねて

今年、旧制立教中学校をご卒業された大先輩の伊藤俊太郎先生のご自宅に伺い、立教中学校・高等学校同窓会についてご寄稿頂きました。

先生は、1942年(昭和17年)に旧制の立教中学校に入学され、1947年に卒業後、立教大学に進学され、大学卒業後、新制の立教中学校教諭となりました。

立教中学校教諭となられた年は、松平信久先生が中学1年生としてご入学なされた年だと伺いました。同期の方には、チャプレンの福沢(古木)先生、音楽の猿田先生がいらっしゃったそうです。

従いまして、同窓生としての大先輩であると同時に、多くの同窓生にとって教を頂いた恩師でもある訳です。



「立教中学校・高等学校同窓会」の発足と発展

旧制立教中学校第50回卒業生

伊藤 俊太郎

築地にあった立教中学校が、1923(大正12)年の関東大震災で焼け出されて、池袋に新しい校舎を造ったのが26(15)年で、この時あらたに、卒業生相互の親睦を厚くし、母校との親密な連絡を図るために「立教中学校同窓会」が組織されました。

太平洋戦争の敗戦。そして占領された日本に新しい憲法が出来たのが1946(昭和21)年。学制も改まって、6・3・3・4の新制小・中・高・大は47(22)年から順次スタートすることになるのです。

1948(23)年の4月に、旧制の立教中学校が分離して、新制の立教中学校と立教高等学校になり、やがて小学校から大学へとつながる立教の「一貫教育」が完成したわけですが、母体であった「立教中学校同窓会(旧制)」から「立教中・高等学校同窓会(新制)」の発足を見る迄には、まだ少し時間を要しました。

旧制立教中学校最後の同窓会が開かれたのは1947(昭和22)年3月5日でした。

新制の「立教中・高等学校同窓会」を組織する計画は徐々に進められて規約も作られ、いよいよ創立総会が50(25)年5月5日に開催されようという矢先の3月25日に、中学の木造校舎が不審火で全焼してしまったのです。

鉄筋コンクリート3階建ての「12号館」と、木造で2階建ての「新館」とに高校生と中学生を詰め込んで、窮屈な思いをしていたところへ「新館」の6教室が焼失したのですから、同窓会を開けるスペースなど全く無くなりました。こうして、焼跡に新しい中学校校舎を建ち上げるまで、会を延期せざるを得なくなったのです。

新校舎は翌年完成しましたから、この3階の合併教室を使ってようやく新制第1回の「立教中・高等学校同窓会」の創立総会が開けました。これが1951(昭和26)年6月16日のことでした。

同窓会の初代会長は佐野正綱(大正7年中学校卒)、副会長は、花房正雄中学校主事・縣 康高等学校主事・牧 恒久(大正10年卒)・七海 久(大正13年卒)・伊藤次郎(大正14年卒)の諸氏で、以後、歴代の役員・理事の努力によって会は維持・経営されて来ました。

1960年(昭和35)年、「立教高等学校」は新座に移転して大きくなったので、卒業生の人数も急激に増えています。

立教の「一貫連携教育」が2000(平成12)年に実現されるに及び、「立教池袋中学校・高等学校」と「立教新座中学校・高等学校」がかたち作られる事になりました。その結果、「立教中・高等学校同窓会」の会員も、従来の旧制立教中学校・新制立教中学校・高等学校の卒業生に、あらたに「池袋」「新座」両校の卒業生を加えて、旧・現職員からなる「特別会員」や「名誉会員」と共に構成されることになって現在に至っているのです。

会員の皆様の御助力によって、この会を盛り立てていただくことを祈念しております。

■ 参考文献

立教学院85年史
立教学園100年史
立教学院125年史
立教中学校100年史

立教高等学校50年誌
立教中学校教務日誌(花房先生筆)
立教中学校週会記録(後の「職員会議録」)
中高連絡会議記録

立教中・高等学校同窓会名簿(昭和32年度版)
立教中学校校友会誌「いしずえ」
立教中学校・高等学校同窓会規約

同期会・クラス会・OB会

▶立教高等学校野球部 創部60周年記念パーティー



平成20年10月18日 220名参加

▶第35回 立教さむらい会 2008年5月31日・於／新橋亭



昭和34年立教高校入学者の同窓会

▶「立教中学校・高等学校卓球部OB会」のご紹介

立教中学校・高等学校卓球部OB会は発足以来50年近くが経過し現在会員は約700名を数えております。その間母校は新座校、池袋校へと発展いたしました。本会は両校間の垣根を設けることなく会員相互の旧交を温める場として毎年4月に総会を開いております。また両校の顧問先生と連絡をとりながら現役部員諸君の練習見学や練習参加なども行っており、そのご発展を願っております。

本会の主旨と活動について両校の先生方およびOB会員皆様のご理解を宜しく願いたします。

立教中学校・高等学校卓球部OB会
会長 秋山 元男

電話：045-891-5261 メール：moto1685@aol.com

▶池袋中高山岳スキー部「卒業生の会」よりお知らせ

池袋中高山岳スキー部「卒業生の会」を、6月6日18:30より立教大学第一学食「藤だな」にて開催します。

問合先：千住<senju@mtd.biglobe.ne.jp>

▶立教高等学校柔道部OB会総会



平成20年6月28日 立教大学第一食堂「藤だな」23名参加

▶第3回66-72同期会



2008年5月17日(土曜)

早春の折り、先生方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

我々同期会は、1966年に立教中学入学、72年に立教高校を卒業した学年で、この6年間に1年でも在学した者は会員資格があります。したがって、中学のみの者、中途退学者、転出者も含まれます。

さて、この3月に高校の渡邊隆洋先生が定年退職されます。これで我々がお世話になった担任の先生方は全員“卒業”ということになりました。2003年「鬼怒川1泊修学旅行」、2005年「隅田川船上礼拝」と同期会を重ねてきた我々ですが、この「担任全員卒業」という絶好の機会を見逃す手はないと、中高でお世話になった先生方全員にお声をかけよう、という集いを企画しました。

我々も五〇代半ばとなり、集まれば、いい老眼鏡はないか、五十肩がひどい、肝機能がどうのこうのと、なさない話題が多くなってきました。ぜひ、人生で幾多のヤマを越え、今もって我々の前を歩かれている先生方に、我々がいかにかこれからの時間を過すべきかを御指導いただきたく御案内を差し上げる次第です。

66-72同期会 幹事一同

同窓会(広報委員会)では、同期会・クラス会・各種OB会の写真や記事を募集しております。そのような会が開催されましたら、是非同窓会事務局(TEL 048-471-2325)へご一報下さい。

2008年総会報告

2008年6月21日(土)午後4時より立教中学校・高等学校同窓会が開催されました。

はじめに立教学院聖パウロ礼拝堂(チャペル)にて『日々の活躍に真心をもって感謝し、賛美を捧げる同窓生の為の祝福礼拝』を行いました。同窓生で恩師でもある福澤道夫司祭から、大学進路希望にまつわる日頃の努力と結果の苦い思い出の奨励をいただき、そして後藤前校長によるパイプオルガンの演奏に在学時の礼拝を懐かしく思い出されたのではないのでしょうか。

定時総会では両校校長のご挨拶、事業・会計報告、両校教職員の勤続15年表彰、退職者表彰が行われました。

つづいて新座キャンパス大学食堂に移動し懇親会が行われました。両校教頭からの近況報告、退職教職員、旧制中学卒業の同窓生紹介、同窓会の役員・委員の紹介がありました。

新座校西村校長の乾杯後盛り上がる歓談のなか、同窓生が製作した同窓会シンボルマーク・特設ステージ上で記念撮影も行われました。(その様子はCD-ROMになって皆様のお手元に届いていることと思います)

革靴をどろんこにして通ったかつての立教高校が“思い出をのこしつつ未来永劫への発展にむけて近代化されていく様子”が皆様にどのように伝わりましたでしょうか。

今年も6月20日に十字の旗の下に再び元気な笑顔と共に集結できることを楽しみにしています。

今後どうぞ足を運んでいただき、立教中学校・高等学校の応援をよろしくお願い致します。

(広報委員会 東海林純一 記)

収支報告

収支計算書

2007年4月1日から2008年3月31日まで

(単位:円)

| 科目 | 決算額 | 備考 |
|----------------|-----------|--------------------|
| (収入の部) | | |
| ① 会費収入 | | |
| 新座校第59回卒業生会費収入 | 3,080,000 | 10,000×308名 |
| 池袋校第5回卒業生会費収入 | 1,250,000 | 10,000×125名 |
| 維持会費収入 | 2,080,000 | 638名(振込615名+当日23名) |
| ② 行事収入 | | |
| 総会懇親会収入 | 723,000 | (振込118名+当日26名) |
| ③ 資産運用収入 | | |
| 受取利息 | 5,513 | |
| 収入合計 | 7,138,513 | |
| (支出の部) | | |
| ① 事業費支出 | | |
| 総会時諸費支出 | 834,889 | |
| 印刷費 | 2,021,629 | 会報/総会案内制作費・送料 |
| 通信費支出 | 15,230 | 退職教職員等案内送料他 |
| 記念品支出 | 660,000 | |
| ② 管理費支出 | | |
| 理事会諸支出 | 174,418 | 会議費 |
| 校友連合会分担金支出 | 20,000 | 年会費 |
| 消耗品支出 | 13,062 | |
| 通信運送支出 | 0 | |
| 渉外費支出 | 0 | |
| その他支出 | 193,394 | ゆうちょ銀行手数料他 |
| ③ 予備費支出 | 0 | |
| 支出合計 | 3,932,622 | |
| 当期収支差額 | 3,205,891 | |
| 前期繰越収支差額 | 3,165,425 | |
| 次期繰越収支差額 | 6,371,316 | |

収支予算書

2008年4月1日から2009年3月31日まで

(単位:円)

| 科目 | 予算額 | 備考 |
|----------------|-----------|--------------|
| (収入の部) | | |
| ① 会費収入 | | |
| 新座校第60回卒業生会費収入 | 3,090,000 | 10,000×309名 |
| 池袋校第6回卒業生会費収入 | 1,200,000 | 10,000×120名 |
| 維持会費収入 | 2,000,000 | 2,000×1,000口 |
| ② 行事収入 | | |
| 総会懇親会収入 | 780,000 | 振込金+当日会費 |
| ③ 資産運用収入 | | |
| 受取利息 | 5,000 | |
| 収入合計 | 7,075,000 | |
| (支出の部) | | |
| ① 事業費支出 | | |
| 総会時諸費支出 | 1,000,000 | 飲食代他 |
| 印刷費 | 2,200,000 | 会報・総会案内制作・送料 |
| 通信費支出 | 20,000 | 退職教職員案内送料他 |
| 記念品支出 | 330,000 | 勤続・退職教職員他 |
| ② 管理費支出 | | |
| 理事会諸支出 | 200,000 | 会議費 |
| 校友連合会分担金支出 | 20,000 | 年会費 |
| 消耗品支出 | 250,000 | |
| 通信運送支出 | 20,000 | |
| 渉外費支出 | 50,000 | |
| その他支出 | 200,000 | |
| ③ 予備費支出 | 500,000 | |
| 支出合計 | 4,790,000 | |
| 当期収支差額 | 2,285,000 | |
| 前期繰越収支差額 | 6,371,316 | |
| 次期繰越収支差額 | 8,656,316 | |

| 立教池袋校 | | 立教新座校 | | 退職者 | |
|-------|-------|-------|------------|------------|--------|
| 館 彦史郎 | 校長 | 西村 俊彦 | 校長 | 伊藤俊太郎 | 元社会科教諭 |
| 鈴木 弘 | 教頭 | 澁谷 壽 | 教頭 | 上野 明德 | 元体育科教諭 |
| 菅原 修実 | チャプレン | 長谷川清純 | チャプレン | 海野 慎次 | 元数学科教諭 |
| 押田 修実 | 事務長 | 鈴木 伸行 | チャプレン | 大貫 金吾 | 元数学科教諭 |
| 市橋 祐介 | 社会科教諭 | 村上 秀幸 | 事務長 | 河合 靖峯 | 元国語科教諭 |
| 酒井 一哉 | 数学科教諭 | 萩原 雄一 | 英語科教諭 | 川井 幸雄 | 元職員 |
| 松本 邦男 | 数学科教諭 | 清水 邦彦 | 数学科教諭 | 国見 登 | 元校長 |
| 荻原 正人 | 事務室課長 | 野村 博英 | 数学科教諭 | 後藤 篤 | 前校長 |
| 武藤 孝宏 | 職員 | 花岡 宏行 | 数学科教諭 | 坂西 公一 | 元音楽科教諭 |
| | | 古田 豊 | 理科教諭 | 清水 孝郎 | 前事務長 |
| | | 佐藤 亜紀 | 総務課課長 | 清水 靖夫 | 元社会科教諭 |
| | | 松本 真哉 | 教務・入試広報課課長 | 鈴木 武次 | 元社会科教諭 |
| | | 萩 弘治 | 庶務担当課長 | 大宮司時四郎 | 元体育科教諭 |
| | | 内藤 誠 | 総務課係長 | 日高 宏 | 元理科教諭 |
| | | 及川 篤志 | 職員 | 福沢道夫(旧姓古木) | 元チャプレン |
| | | | | 森田 利光 | 元教頭 |
| | | | | 山根 惇志 | 元国語科教諭 |



2008年度 教職員退職者・就任者・逝去者(敬称略)

(立教池袋校)

退職者 1. 館 彦史郎(理科, 校長)
2. 中島 博(国語科, 前校長)

就任者 1. 永田 真一(国語科)

逝去者 1. 西村 哲郎(チャプレン, 校長)5月20日歿
2. 久保 貞吉(理科, 教頭)10月12日

(立教新座校)

退職者 1. 長谷川清純(チャプレン)

就任者 1. 西海 雅彦(チャプレン)

逝去者 1. 柴田 北彦(社会科)12月14日歿
2. 林 八重子(職員)12月30日歿
3. 小野寺美喜蔵(職員)1月23日歿